

## 論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙第 1,785 号	氏名	宮原 春美
論文審査担当者		主査教授	青柳 潔
		副査教授	篠原 一之
		副査教授	増崎 英明
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、自閉症者の性発達・性行動の実態と母親がそれをどのように認識しているかを明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>自閉症者に対しては二次性徴、マスターベーション、異性への関心、性的問題行動について、母親に対しては我が子と障害者一般の性発達と性行動に対する認識、夫婦関係満足度、ソーシャルサポートについて調査し、それらを重症群・非重症群間で比較したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、自閉症者の性発達は生理的には障害の程度による差はないが、心理・社会的レベルの性行動では違いがみられること、および母親の認識は子供の障害の程度、夫婦満足度によって違うことを明らかにし、今後の自閉症研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は自閉症者およびその家族との関わり方に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			